

患者さんへ

この度、『アブラキサン点滴静注用 100mg』という膵癌患者さんにとって重要な抗がん剤の供給が暫く停止するとのお知らせが製薬会社からありました。本製品を販売している製薬会社の輸入先である海外生産工場にて製造上の不具合が見つかったため、日本向けの製品輸出が一時中断されております。この点の詳細については日本膵臓学会およびパンキャンジャパンのホームページに、この製薬会社が医療者向けに配布した「アブラキサン点滴静注用 100mg 供給に関するお詫び」を掲載しておりますので、ご参照いただければと思います。

現在国内にある在庫から鑑みて、2021年10月中旬以降、本製品が一時的に欠品する可能性があることや、現時点で供給再開の目処が立っていないことから、日本膵臓学会では膵癌患者さんの治療ができる限り継続できるよう、関連学会とともに医療関係者むけの合同声明文を発出いたしました。

<http://www.suizou.org/etc.htm#210826>

また、製薬会社に対しては、現状に関する詳細を明らかにし、早期供給再開への対応を全社一丸となって取り組むよう、以下の要望書を提出いたしました。

- アブラキサン供給停止に至った理由と現状の詳細。
- 国内在庫状況と出荷完全停止の見通しの詳細。
- 今般の「アブラキサン点滴静注用 100 mg」の供給停止の原因となった工場とは別の工場で製造される「アブラキサン点滴静注用 100 mg」を日本市場向けに提供するよう米ブリistol・マイヤーズ スクイブ（アブラキシスサイエンス社）に働きかけ、緊急輸入すること。
- 海外ジェネリック製品の有無と供給の可能性。
- 安定供給の早急な復活を内容とする緊急ステートメントを患者向けに発出すること。
- 当該工場にて同様な問題が発生しても、2度と供給停止が起こらないようリスクマネジメントの対策をたて患者向けに発出すること。

さらに、本剤供給の早期再開に向けて、厚生労働大臣をはじめ関係する厚生労働省局長および医薬品医療機器総合機構理事長への要望書もすでに提出いたしました。

日本膵臓学会では、本事案に関して膵癌患者さんへの影響が最小限となるよう関連する省庁、企業等への要望を行い、関連学会等とともに今後も最大限の努力を続けてまいります。

令和3年9月14日

一般社団法人 日本膵臓学会 理事長 竹山宜典
特定非営利活動法人 パンキャンジャパン 理事長 眞島喜幸